文化中級日本語

Ⅱ

教科書用テープ

テープ原稿付き

（本文・聞く練習・聴解・活動を収録）

文化外国語専門学校編
BUNKA INSTITUTE OF LANGUAGE

文化中級日本語
Ⅱ

教科書用テープ原稿

文化外国語専門学校編
BUNKA INSTITUTE OF LANGUAGE

・この冊子は『文化中級日本語II』教科書用テープのテープ原稿です。テープには「本文」、「聞く練習」、「聴解」、「活動」の聴解部分、会話例など、教科書に で示した部分が収録されています。収録されているもののうち、教科書に文が掲載されていないものを、この冊子にまとめました。
・「聞く練習」のテープ原稿の中で　　　で表されているものはIIIの練習のポイントになっている部分です。
・言いよどみの部分はカタカナで表記しました。

第1課

本文Ⅰ　「地震の記事」　→教科書p.14

聴解　ニュースを聞く　（聞いてみよう）

1.例）父　：さ、テレビでも見るか……。〈ピッ〉
　　AN　：……見通しのよい直線道路でした。警察では、バスの運転手から事情を聞き、事故の原因を詳しく調べることにしています。
　1）AN　：次のニュースです。総務庁がまとめた推計によりますと、今年……
　　子供：あ、まんが、まんが〈ピッ〉
　　父　：だめだよ。ニュース見てるんだから。〈ピッ〉
　　AN　：……で、過去最低となりました。また、年齢ごとに見た子供の人口は、14歳の子供が168万人いるのを最高に年齢が下がる……
　　子供：ねえ、まんが。
　　父　：ニュース、終わってからね。
　　AN　：総務庁では、今後も子供の数が人口に占める割合は減少するものと見ています。
　2）AN　：では、次のニュースです。今日昼前、山梨県の河口湖に乗用車が転落し、若い男女3人が……
　　〈ピーンポーン〉
　　母　：あ、お父さん、誰か来た。
　　父　：おお。(席を立つ)
　　AN　：……警察では、車はハンドル操作を過ってスリップしたのではないかと見て、3人のうち誰が運転していたか確認を急いでいます。
　3）AN　：本格的な春の訪れを前に、日本三名園のひとつ、岡山市の後楽園で、今日、恒例の松のこもやきが……
　　〈バイクの音〉
　　父　：バイク、うるっさいなあ。(窓を閉める)
　　AN　：今朝は青空の広がる穏やかな天気となり、後楽園を訪れたたくさんの観光客たちは江戸時代から続く春の風物詩を楽しんでいました。

2.例)　昨日午後、新宿区で火事があり、一人暮らしの老人がけがをしました。昨日午後3時ごろ、新宿区東新宿1丁目のアパートから火が出て、アパートの2階部分を全焼しました。

この火事で、2階の部屋に寝ていた安田高さん80歳が、逃げようとした時に足を折り、病院で手当てを受けています。

新宿消防署では、火事の原因を詳しく調べています。

安田さんは、一人暮らしでした。

1）　今日、渋谷区の国道で、乗用車とタクシーが衝突し、乗用車を運転していた男の人が頭などを強く打って死亡しました。

今日午後4時半ごろ、渋谷区南1丁目の国道で、東京都新宿区の会社員鈴木弘さん（48才）が運転する乗用車が、センターラインを越え、前から来たタクシーと衝突しました。この事故で、鈴木さんが、頭や腰などを強く打って、病院に運ばれましたが、およそ2時間後に死亡しました。タクシーの運転手や乗っていた二人の乗客にけがはありませんでした。渋谷警察署の調べによりますと、現場は、見通しのよい直線道路で、道路には、ブレーキを踏んだあともないことから、死亡した鈴木さんが居眠り運転をしていた可能性もあるとみて、タクシー側の運転手や乗客からも事情を聞き、事故の原因を詳しく調べることにしています。鈴木さんは、友人の結婚式に出席したあと、家に帰る途中でした。

2）　本格的な夏の訪れを前に、神奈川県の江ノ島海岸で、きょう、恒例の海開きがありました。今日の海開きは、午前11時から、地元の関係者などおよそ60人が集まって、江ノ島海岸の砂浜で行われました。まず、おはらいをしたあと、地元の村山市長が、「今年も事故ゼロをめざして、海水浴客に安心して楽しんでいただけるよう、頑張りましょう。今年はたくさんの海水浴客が訪れることを期待しています」と挨拶しました。その後、海水浴の期間中、事故の警戒をする救助隊員たちが海に飛び込み、救助訓練を行いました。江ノ島海岸には、8月末までの期間中、去年より20万人多い150万人の海水浴客が訪れるものと見られており、まもなく夏本番を迎えます。

3）　今年、日本人の海外旅行者は、およそ1200万人となって、過去最高となる見通しです。日本旅行連盟が、まとめたところによりますと、日本人の海外旅行者は、今年、およそ1200万人にのぼり、去年を100万人余り上回って、過去最高となるものと見られています。海外に出かける日本人は、去年、11年ぶりに前の年を下回りましたが、今回再び増加しました。出かけた国別に見てみますと、最も多いのがアメリカ、次いで韓国、香港、シンガポールの順となっています。

本文2　「文化タイムズ」　→教科書P.24

（「ホームステイの勧め」の表と「情報コーナー」を除く）

聞く練習

Ⅰ．会話を聞いて、その内容と合っているものをａｂｃの中から一つ選んで○をつけてください。

１．女性：お金がもっとあれば幸せになれるのになあ。
　　男性：そうかなあ。お金があるからって、幸せになれるとは限らないよ。
　　　ａ　男の人はお金があれば幸せになれると思っている。
　　　ｂ　男の人はお金があると幸せになれないと思っている。
　　　ｃ　男の人はお金があっても幸せになれるかどうかわからないと思っている。

２．女性：ねえ、この料理おいしいわね。
　　男性：うん、さすが今田さんが作っただけあるね。
　　　ａ　今田さんは初めて料理を作ったということを男の人は知っていた。
　　　ｂ　今田さんは料理が上手だということを男の人は知っていた。
　　　ｃ　今田さんはいつもは料理が下手だということを男の人は知っていた。

３．女性：ねえ、具合が悪いんだから休んで病院へ行ったら？
　　男性：大切な仕事があるんだ。そういうわけにはいかないよ。
　　　ａ　男の人は仕事を休んで病院へ行く。
　　　ｂ　男の人は休まないで仕事をする。
　　　ｃ　男の人は具合が悪くて仕事ができない。

Ⅱ．留学生のリーさんと日本人の女性が話しています。まず１から５の文を聞き、その内容に注意して会話を聞いてください。その後で、もう一度１から５の文を聞き、合っているものには○、合っていないものには×をつけてください。

１．リーさんは１年前に日本にきた。
２．リーさんは日本人のように日本語が使えるようになりたいと思って日本へきた。
３．リーさんは、学校の勉強はあまりしていない。
４．リーさんは夏休みに帰国した。
５．リーさんは受験するつもりだ。

Ａ：リーさん、もう日本へきてどれぐらいになる？
Ｂ：もうすぐ１年です。
Ａ：早いわねえ。もう１年。どう、日本の生活は。
Ｂ：ええ、とっても生活しやすいし楽しいんですけど……。
Ａ：ええ。
Ｂ：日本語の勉強が大変で……。
Ａ：ああ、リーさん、真面目だから。
Ｂ：いえ、日本へ来る時は「留学するからには日本人のように日本語が使えるようになろう」って思ってたんです。

A：ええ。
B：でも、最近は、日本にいるからって上手になるとは限らないってことがわかってきたんです。ほんとに頑張らないと……。
A：でも、リーさん、上手になってるわよ。
B：いえ、まだ全然だめなんです。学校の勉強はもちろん、日本語能力試験の勉強もしなくちゃなんないし……。時間がなくて……。
A：まあ、大変ねえ。
B：ええ、夏休みも帰国するわけには行かないと思って、ずうっと日本で頑張ってきたんですけど……。
A：ああ、そう。リーさん、今、自信が無くなってるんじゃない？
B：ええ、そうなんです。大学受験も近づいてきたし……。
A：今は、自分の力を信じて頑張るしかないわよ。

1．リーさんは1年前に日本にきた。
2．リーさんは日本人のように日本語が使えるようになりたいと思って日本へきた。
3．リーさんは、学校の勉強はあまりしていない。
4．リーさんは夏休みに帰国した。
5．リーさんは受験するつもりだ。

活動　この人に聞いてみました［I］（使う表現）練習→教科書P.35

第2課

本文1　「お元気ですか」→教科書P.40
本文2　「日本の旅行ガイド」→教科書P.48

（聞く）練習

I．これから男の人と女の人の会話を聞きます。この会話は途中で終わっています。女の人はその後、何と言うでしょうか。ａｂｃの中から一つ選んで、○をつけてください。

1．女性：あっ、木村さん、こんにちは。
男性：ああ、田中さん。どうでした？　結婚式のスピーチ。
女性：ええ、木村さんがいろいろ教えてくれたおかげで
　ａ　ありがとうございました。
　ｂ　大変でした。
　ｃ　うまくできました。

2．女性：ゲンさん、山、どうだった？
男性：いやあ、よかったよ、疲れたけど。
女性：そう。山登りって体力いるわよね。
男性：そうなんだよね。だから、もう、できないかなあって思ってるん

だ。年だから。

女性：ううん……。でも、まだ、登りたいんでしょう？

男性：うん。頂上に登った時のさわやかな気持ちは最高だからねえ。

女性：じゃあ、体力のある限り

a　頑張って登ったら。

b　登るのをやめたら。

c　登れないわね。

3．男性：あのう、すみません。

女性：はい、何でしょうか。

男性：あのう、ここの学校はフリーレッスンて聞いたんですけど……。それはどういう……。

女性：あ、フリーレッスンというのはですね、決まった時間に同じ場所で授業を受けるんじゃなくて、生徒さんが好きな時間と場所を選べるというシステムなんです。

男性：というと……。

女性：例えばですね、火曜日は渋谷で5時、木曜日は新宿で7時というふうに

a　先生はいろいろいますので安心ですよ。

b　時間と場所がばらばらで大変なんですよ。

c　自由にレッスンの場所と時間を選んでいただけるんですよ。

II．日光の見どころについてガイドさんが話しています。ガイドさんは何について説明しましたか。下のA、Bそれぞれのグループの中から正しいものを一つずつ選び、○をつけてください。

エー、皆様、ここが日光東照宮でございます。

この東照宮は江戸時代に建てられましたが、御覧のように、たいへん色彩豊かで豪華な造りになっております。

エー、さて皆様、こちらをご覧くださいませ。これが有名な三猿（さんざる）でございます。見ざる、聞かざる、言わざる、の三匹の猿の彫刻でございます。それぞれ目や耳、口を押さえております。これは、見ない、聞かない、言わない、という意味でございます。なぜ猿かと申しますと、ここは神様がお乗りになる馬がいる所で、昔から猿は馬を守る動物とされていたため、この彫刻が造られたのでございます。

では、次に参りましょう。

はい、皆様、この上に見えますのが眠り猫でございます。花の下で猫が気持ち良さそうに寝ておりますが、この彫刻は奥にネズミを入れないためですとか、眠っていられるほど平和な世を表しているなどいろいろな説がございますが、はっきりしたことはわかっておりません。当時の有名な彫刻家の作品だという話もありますが、それもよくわかっておりません。……

活動　国際交流パーティー［I］（聞いてみよう）

（パーティー会場で）

司会：皆様、「国際交流の夕べ」にようこそおいでくださいました。日本に住んでいらっしゃる外国人の方々と日本人との交流を深めようという目的で行っているこの催しですが、今日も世界各国から日本にいらしているたくさんの方々をお招きしております。どうぞお飲み物を手に、楽しいひとときをお過ごしください。

例）女性：あのう、お国はどちらですか。
男性：パキスタンです。
女性：えっと、パキスタンっていうと、暑い国ですよね。日本の冬は寒いでしょう。
男性：そうですねえ。でも北のほうは結構寒いんですよ。私は北の方の出身ですから。
女性：ああ、確か、パキスタンは北の方に高い山があるんですよね。ヒマラヤじゃなくて、ううん、何でしたっけ。
男性：ああ、カラコルムですね。
女性：ああ、そうそう。カラコルムでしたね。

１．女性：サントスさんはどちらからいらっしゃったんですか。
男性：ブラジルから来ました。
女性：ブラジル。ブラジルっていうと、サッカーが強いですよね。
男性：そうですね。私もサッカー好きですから、Ｊリーグ、よくテレビで見ます。
女性：サントスさんもサッカーやってらしたんですか。
男性：ええ、小さい頃よくやりました。ブラジルの子供はボールがあれば、すぐサッカーするんです。
女性：なるほど、だから強くなるわけですね。あのう、日本でもサッカー見に行きますか。
男性：ええ、行きますよ。日本の競技場はいいですね。女性や子供も行けるから。ブラジルではサッカー場はほとんど男ばっかりですよ。
女性：えっ、そうなんですか。どうして？
男性：ゲームに興奮したファンが暴れることがあるから……。でも、日本はその点、安心して見ていられますね。ガールフレンドも連れてけます。

２．男性：ええと、失礼ですが、どちらの方ですか。
女性：イタリアです。
男性：イタリアですか！　僕、今度の夏休みにイタリアを旅行しようと思ってるんですよ。
女性：そうですか。イタリアのどの辺に行かれるんですか。
男性：いやあ、それがまだはっきり決まってなくて。イタリアは見るところがたくさんありますよね。ローマ、ナポリ、ベニス、ミラノ、みんな見たいんですけど、時間もそんなにないし……。そうだ、お勧めのところを教えてもらえませんか。
女性：どんなところに興味があるんですか。
男性：やっぱり、歴史のあるところとか……。

女性：歴史……は、ローマでしょうね、やっぱり。イタリアらしい雰囲気のあるところなら、ベニスがいですよ。
男性：ローマとベニスですね。あのう、おみやげはどんなのがいいでしょうか。
女性：そうですねえ、ううん、イタリアは革製品がいいから、バッグとか靴とか財布とか、そういうのはどうでしょうか。色もきれいだし。
男性：ああ、革製品ね。いいですね、ぜひ見てみよう。

3．女性：スミスさんはどちらの方ですか。
男性：僕ですか、僕はアメリカです。
女性：アメリカのどちらですか。
男性：フィラデルフィアです。
女性：ああ、フィラデルフィア。もう日本は長いんですか。
男性：ええと、そろそろ2年になります。
女性：へえ。留学ですか、お仕事ですか。
男性：仕事で。アメリカン銀行の日本支社に今います。
女性：そうですか。日本で仕事するっていうのはどうですか。大変ですか。
男性：いや、楽しいですよ。もちろんいろんな習慣の違いとかもありますけど、それもおもしろいですね。
女性：へええ。

4．男性：ここ、いいですか。
女性：あ、どうぞ。
男性：日本の方ですか。
女性：ええ、そうです。
男性：学生さんですか。
女性：はい。
男性：私は名成大学のシャファーと申します。マレーシアから来ました。どうぞよろしく。
女性：平成女子大学の山口です。よろしくお願いします。
男性：山口さんは専攻は何ですか。
女性：一応、国際文化のコースにいるんですけど。
男性：国際文化コース。いろいろな国の文化を？
女性：私はその中のアジア文化コースにいます。
男性：そうですか。アジアの国で、どこかに行ったこと、ありますか。
女性：それがまだ行ったことないんですよ。大学にいる間にいろいろと行ってみたいと思ってるんですけど。
男性：たとえば？
女性：やっぱり中国には一度行ってみたいですね。
男性：中国。僕も行ってみたいなあ。

活動　国際交流パーティー［II］ 話してみよう →教科書P.65

本文１　「ステレオタイプって何ですか？」　→教科書p.70
本文２　「何でも食べよう」　→教科書p.76

聞く 練習

I．これから男の人と女の人の会話を聞きます。この会話は途中で終わっています。女の人は、その後、何と言うでしょうか。ａｂｃの中から一つ選んで○をつけてください。

1．男性：もしもし、そっちはゆうべっからすごい雨なんだって？　ニュース見てびっくりしたよ。
　女性：そうなのよ。
　男性：まだやみそうにない？
　女性：やむどころか、
　　a　晴れてきてんのよ。
　　b　降ったりやんだりしてんのよ。
　　c　どんどん激しくなってきてんのよ。

2．男性：前田さん、お疲れさまでした。
　女性：皆さん、ありがとうございました。おかげさまで今日のコンサートを成功させることができました。
　男性：さすが「世界の前田」！　すばらしい演奏でした。今日の成功は前田さんの実力ですよ。
　女性：いいえ、
　　a　皆さんが協力してくださったからこそ、私も頑張ることができたんです。
　　b　皆さんが協力してくださったからには、私も頑張ります。
　　c　皆さんが協力してくださったからって、私は頑張ることができません。

3．男性：木下さん、ちょっと聞いてもいいですか。
　女性：あ、スミスさん、なあに？
　男性：あのう、畳の上に座る時は、ちゃんと足を曲げて座らなくちゃいけませんよね。
　女性：ううん、場合にもよるけど、畳の上だからって必ずそうしなきゃいけないってことはないんじゃないかなあ。
　男性：そうなんですか。
　女性：そうよ。日本人でも、そんなに長い時間座ってらんないもん。
　男性：そうですよね。長い時間座ってると、足が、ええと、足が……何てゆうんでしたっけ。
　女性：ああ、
　　a　足がしびれるからよ。
　　b　「足がしびれる」ってゆうのよ。
　　c　「足がしびれる」ってゆうのはそのことよ。

II．いくら食べても太らない砂糖についての実験結果を報告しています。報告を聞いて、表を完成させてください。

エー、私どもの研究室では、いくら食べても太らない砂糖について以前から研究してきましたが、このたび「ＮＦシュガー」の開発に成功いたしましたので、報告させていただきます。

エー、この特殊な砂糖「ＮＦシュガー」の効果を確かめるために、ネズミを使った実験を行いました。ほぼ同じ大きさのネズミ100匹を４つのグループに分け、それぞれ違うえさを与えました。エー、お手元の資料を御覧ください。資料には、それぞれのえさの内容が書いてあります。グループ①はふつうの砂糖もＮＦシュガーも入っていない、つまりどちらもゼロ％のえさです。グループ②は100％ふつうの砂糖を使ったえさで、これにはＮＦシュガーは使用しておりません。グループ③はふつうの砂糖とＮＦシュガーを半分ずつ使ったえさです。エー、そして最後に、グループ④ですが、これにはふつうの砂糖は全く入っておりません。エー、これらのえさを２か月間に渡って与え続けた結果、ふつうの砂糖とＮＦシュガーの違いがネズミの体重にはっきりと表れました。エー、グループ①のネズミの体重を１としますと、グループ②のネズミは3.8、グループ③のネズミは3.0、グループ④のネズミは1.3でした。エー、この実験を通して、いかにＮＦシュガーが太りにくいかが確認されたわけです。

このＮＦシュガーは自然食品であり、人や動物の体に悪い影響は与えません。また、改良を重ねた結果、味のほうもよくなっています。今後は実用化に向けてさらに研究を進めていきたいと考えております。

活動　私の主張［Ｉ］ 聞いてみよう

スピーチⅠ

司会：最初はザンビアのデニス・ムワンサさんです。題目は「若者の異文化に対する心がまえ」です。それでは、よろしくお願いします。

皆さん、こんにちは。私は、アフリカのザンビアという国から来ました。日本に来てもう２年になります。日本語を一生懸命勉強しましたが、日本語はかなり難しい言葉だと思います。１年前、こんな恥ずかしいことがありました。大学の先生のバースデーパーティーで、みんなが「先生！　万歳！　万歳！」と言っているのを、よく聞き取れなくて、私は「先生！　凡才！　凡才！」と言っていました。

日本語を少し話せるようになっても、日本の文化と習慣がよくわからないので変なことを言ってしまうことがありました。例えば、「日本語が上手ですねえ。」とほめられた時に「いいえ、そんなことはありません。」または「いいえ、上手ではありません。」と謙遜しますが、ザンビアの文化ではほめられた時に「ありがとう。」と答えないと、相手の言葉に感謝していないということになります。いろんな国の人と理解し合うためには、その人の文化と習慣を知る必要があるのではないでしょうか。皆さん、今日は、日本人、特に、若者のアフリカやアジアの文化に対する心がまえについて話をしたいと思います。

友達を作るために、いろんな文化を理解するために、日本に住んでいる外国人と日本人はさまざまな交流をしています。私が住んでいる長崎では、日本の催し物に参加する外国人はとっても多いです。それは、国際文化交流のうえで、とってもすばらしいことだと思います。しかし、ちょっと心配なことがあります。それは、発展途上国の文化を理解しようと思ってる若い日本人はとても少ないということです。私が見たところでは、若い日本人は、アメリカとヨーロッパについての文化的なイベントには参加しますが、アフリカやアジアについての文化的なイベントにはほとんど参加しないようです。ある青年たちと留学生の集まりでは、MCハマーの踊りをやりましょうと言うと、みんな一生懸命やりました。でも、フィリピンのバンブーダンスやほかのアジアやアフリカの踊りをやりましょうと言うと、多くの日本人は「恥ずかしい！」と言って、だいたい参加しませんでした。

それから、これは私が黒人だからだと思いますが、「あなたはアメリカのどこの出身ですか。」とたくさんの日本人によく聞かれます。「私はアメリカ人じゃなくてアフリカ人です。」と答えると、相手が「ああ、そう。」と言って、だいたいこれで会話が終わります。日本の若者は西洋人との交流だけを目指しているのではないでしょうか。たぶん欧米の文化が優れていると思うのでしょう。

この風潮は日本のマスコミのせいかもしれません。テレビの多くが西洋の価値観で放送されるのも、その影響の一つではないでしょうか。アメリカとヨーロッパの文化についてはよく放送されますが、途上国の場合は戦争や飢饉の時だけ、放送されます。途上国の文化について番組があったとしても、おもしろおかしい場面だけが放送されます。そのたびに、「え！　すごい！　信じられない！」とヒステリックな声を出している若い女性が番組のプレゼンターです。番組を見ると、途上国ではこんな変なことばかりだと思われてしまいます。

皆さん、ニッポンは経済大国となって、世界を指導する国の一つになりました。でも、たぶん、日本がリーダーシップを発揮するのはアメリカとヨーロッパの発展した国ではなくて、発展途上国だと思います。でも、指導国となったニッポンの皆さんは指導される発展途上国についてどのぐらい知っていますか。たくさんの日本人がアフリカ人は裸でやりを持って生活をしていると思っています。でも、ほとんどのアフリカ人は洋服を着て、仕事を持って生活をしています。私は日本の皆さんに途上国の文化と生活の本当の姿を知って、理解してもらいたいと思います。

私は国際文化の専門家ではありませんが、私の意見はこうです。異文化を知ることは、皆さんの仕事やお金もうけなどには役に立ちませんが、異文化を知れば、新しい世界を見るための窓を開けることになると思います。ここにいる皆さんはどう思いますか。以上です。

（財団法人国際教育振興会主催、第34回「外国人による日本語弁論大会」
デニス・ムワンサさんのスピーチより）

スピーチ2

司会：続いてオーストラリアのジェニー・デイビスさんです。題目は「青い目　黒い目　白い目」です。デイビスさん、お願いします。

こんにちは。皆さん、オーストラリアの日本語クラスで初めて覚えたこの言葉で皆さんにあいさつできるなんて、感激で胸が一杯です。まず、日本語と私との出会いをお話ししましょう。タイムマシンのスイッチを、私の高校時代に合わせます。ちょっと目をつぶってください。今より若くて、かわいい私を想像してみてください。希望に燃えて、新しい語学に取り組もうとしています。高校の選択授業にはドイツ語と日本語があり、ドイツ語を取ろうと思っていました。そのことを父に相談したところ、「オーストラリアはアジアの一員なのに、なぜアジアの言葉を勉強しないのか。これから日本とオーストラリアとの関係は、もっと強くなる。ぜひ日本語を選びなさい。」と言われました。この父のひとことで、日本語の勉強を始めたわけです。

いったんオーストラリアの大学を卒業して、日本にやってきた私は、落ち着いて日本を見ることができました。私は日本の会社に就職したので、たくさんの人たちと会うことができました。おつき合いしていくうちにわかってきたのは、ほとんどの日本人は、自分の考え方は日本だけのもので、ほかの国にはないと思い込んでいることです。例えば、会社で休憩中に友達が「うちの主人は『おい、茶。』『飯。』『風呂。』しか言わないわ。」と言うのを聞いて、私は、「あ、一緒。お父さんが “Tea.” と言うと、お母さんは “OK, OK.” と言って持ってきますよ。」すると、「わあ、ジェニーのところは日本人みたいね。」と言います。そうではないのです。どこの国にも伝統的な考え方の人はいるのです。日本でも、奥さんを手伝ってお皿を洗う人もいれば、オーストラリアにだって、アメリカにだって、亭主関白はいるのです。日本の人たちは、どうしていろいろな考え方があることに気づかないのでしょう。

会社での体験の後、しばらくして、初めて大阪に転勤した東京の人からこんな話を聞きました。「同じ日本なのに、言葉も料理の味つけも違うので、外国に住んでいる感じがした。『うちら大阪人、お宅らは東京の方やから。』と言われてしまった。」

けれども、こういう区別のしかたはいいとは言えません。大阪人だ、東京人だ、あるいは、あ、外人だ、あ、日本人だ、という考え方は改めるべきだと思います。そのためには、日本の人たちはツアーの一員としてではなく、もっと外に出て自分たちの黒い目で外国人を見るべきだと思います。美しいものはどんな目で見ても美しいでしょう。

さて、さっき片付けたタイムマシンをもう一度取り出して時間を未来に合わせます。その頃は今よりも速い乗り物、速い情報で、世界はもっともっと発展しているでしょう。東京－キャンベラ間もあっというまに着いてしまうのです。そして、世界が狭くなれば、国民の移動も激しくなり、交流も盛んになるでしょう。そうなれば、日本人自身も変わるでしょう。体つき、目の色も変わるかもしれません。その時、「外人って何？」ということになるでしょう。日本も積極的に外国人を受け入れてほしいと思います。未来に、と言わず、私の目の青いうちに実現すればどんなにすばらしいことでしょう。さあ、今、青い目も、黒い目も、お互いに白い目で眺めている時ではありませんよ。ありがとうございました。(同第29回ジェニー・デイビスさんのスピーチより)

スピーチ3

司会：最後はベルギーのベルナール・ドゥ・ル・クールさん、題目は「郷に入らばと言うけれど」です。では、お願いします。

とにかく作文というのは、小学校の時から大嫌いだったんです。作文の時間になると先生が「さあ、作文の時間ですよ。今日の題は、いいですか。『我が輩は猿である。』お猿ちゃん、キャッキャちゃん。わかる？」。先生は優しくやっているんですが、僕は猿の気持ちなんか全然わからないから、難しくて難しくて、泣いちゃったんです。あれからもう20年も経つというのに、遠く離れた日本に住んでいながら、今でも作文には悩まされ続けています。若くてかわいい先生が恐ろしい顔をして「いいですか。今日の作文の題は『変な外人』です。」なんて言うんですからね。

ところで、僕は、変な外人と言われるのが嫌で、一生懸命日本人のいる前では外国人の中の外国人として生活しているんです。だから、大好物の刺身や納豆も、日本人のいる前じゃ決して食べないことにしています。おそば屋さんに行った時には、変な声を出して、「すみませぬ。もり、かけ、ください。」って注文するんです。おそば屋さんの困ること、困ること。でも、おそば屋さんはとても親切です。何とか私にわからせようとして、説明するんです。「もりそばとかけそばは違うんだけどなあ。もりそばはね、外人さんよ。こうやって、箸でそばを汁につけてなあ、ズズって吸い込むんだよなあ。かけそばはよ、どんぶりに入ってるんだ。熱い汁に入ってるそばをそのままズズって吸い込むんだよなあ、外人さんよ。わかったかなあ。」私が「わからない。」と言うと、もう一度説明してくれたり、表まで連れて出てサンプルを見せて、ついでにてんぷらそばなんかも説明してくれるんです。僕がいよいよ食べ始めると、お店の人たちはみんな見ないふりして、僕が食べるのをチラチラ見てるんですね。だから僕が唐辛子の代わりにこしょうをかけようとすると、三人ぐらいの声で、「ガーイジーンさーん！」。その時、おそば屋さんは、「一体、外国人、どんな食べ方をするんだろうか。」と好奇心で一部始終を見ていたわけじゃないんです。もりそばとかけそばの違いもわからぬ外人さんが食べ方を間違ったら大変だという心配で仕事が手につかないという心理状態なんですね。すばらしいじゃありませんか。

これが私の国だったら、「ははん、この外人は、そういう食べ方をするんだなあ。」と考えて、直してやろうともしないでしょう。なぜなら、ヨーロッパにはいろいろな民族がいるので、その人がどんな食べ方をするか誰も知らないんです。だから、知らん顔をしていたほうが安全でもあるし、かえって親切でもあるわけなんですよ。「郷に入らば郷に従え」って言ったって、難しいもんですね。

(同29回ベルナール・ドゥ・ル・クールさんのスピーチより)

第4課

スポーツと余暇

1．(野球)

これはピッチャーの横。
ショート取った。ゲッツー、取れるか？
ダブルプレー。
しかし佐々木がホームイン。
１点追加して３対０です。

2.（Ｆ１レース）
まだ、ピットの方には動きはありません。
鈴木浩。今14位。今日は14位。前を行くコベルナを追っています。
そのコベルナのピットの方では、給油とタイヤ交換の準備ができています。

3.（すもう）
時間です。〈のこった、のこった〉
右からのいなし、送り出し。
神の山の勝ち。〈神の山～〉右から右から追っつけました、神の山。

4.（バレーボール）
まあ、この人も36才ですが、本当に体調維持を心得ていて、元気です。
佐藤のバックアタック。ひろう、もう一つ、あ、すべった！　あ、大丈夫。
　アウト。いっぱいを狙いました。サイドラインわずかにはずれました……

5.（床運動）
Ｂ：ここが難しい。ソノー、加点の対象になるんですね。
　いくつ宙返りが入ったかわかりましたでしょうか。
Ａ：今回、最後に３回ひねりをしたいと本人は話していました。
Ｂ：あ、そうですか。はい。去年までも、ちょっとチャレンジはしたことがあるんですが、マ、難しいＥ難度の技なんですが、ひねり不十分があると、まあ、減点対象になる……

6.（ゴルフ）
Ａ：さ、キャシー・スミス。
　〈シュッ、パチパチ〉
Ｂ：こりゃ、いいとこ行きましたね。
Ａ：はい、ショットはいいですよね。確かに。
Ｂ：ふうん。
Ａ：さあ、ケリーカレンス。レービンスからワンストローク遅れているわけですが。〈シュッ〉
Ｂ：まあ、フェアウェイウッドですね。まあ、ここはあんまりドライバー使わないんですよね。おっと、お？……

7.（競馬）
ダニーアルファー、ダニーアルファーが先頭。逃げている。
そしてトチノツカサ２番手、３番手からハリノブリザード
そして外を通りましてエディーバード、その外からエンデバー
あ、そして、アズサオーが一番うしろから
どんなレースをみせてくれるんでしょうか。
さあ、最後の直線に入っています。
まだ、リコーアルファー先頭。そしてエディーバード、進んできました。

７番のハリノブリザード
外を通ってエンペラー、そしてアズサオーが上がってきました。
横一杯に広がった。
横一杯に広がった。
アズサオーか、アズサオーか、アズサオーか
いやいやいや赤い帽子もがんばっている。
トチノツカサ行く、トチノツカサ行く。
ハリノブリザード、アズサオー、外を通ってアズサオー
トチノツカサ、トチノツカサ行く
トチノツカサ行くか、アズサオーか、２頭が並んだ!!
追い込んだのはアズサオー……

8.（テニス）
〈ポコーン〉forty thirty!〈ポコーン、ポコーン〉
Ａ：このアングルがいい。
Ｂ：これはナイス、うまいですね。

9.（柔道）
１分を切りました。現在、「有効」のポイントが一つずつ、相手の「指導」で北原、わずかにリードしています。
北原、投げにいった。「まて。」
残りは39秒。ここで守ってはいけません。
さあ、ここから、引き手を持って、
背負い投げ！　どうだ？　いっぽん!!
やりました。みごと出ました。北原、一本勝ち!!

本文１　「世にも恐ろしいスポーツ」　→教科書p.96
本文２　「余暇に求めるもの」　→教科書p.102

聞く練習

Ⅰ．ａｂｃの中から自然な会話を一つ選んで○をつけてください。
１．ａＡ：この学校の学生は、みんな卒業した後帰国するんですか。
　　　Ｂ：いいえ、帰国する人もいれば、日本の大学に進学する人もいます。
　　ｂＡ：この学校の学生は、みんな卒業した後帰国するんですか。
　　　Ｂ：はい、帰国してはじめて大学に進学します。
　　ｃＡ：この学校の学生は、みんな卒業した後帰国するんですか。
　　　Ｂ：いいえ、帰国することになります。
２．ａＡ：仕事が忙しくて寝る時間もなければ食事する時間もないんだよ。
　　　Ｂ：そんな不規則な生活をする人もいれば、病気をする人もいるわよ。
　　ｂＡ：仕事が忙しくて寝る時間もなければ食事する時間もないんだよ。
　　　Ｂ：そんな不規則な生活をしてると病気になりかねないわよ。
　　ｃＡ：仕事が忙しくて寝る時間もなければ食事する時間もないんだよ。

B：そんな不規則な生活をしてはじめて病気になるわよ。

3．aA：来週の月曜日は祝日でお休みですね。
B：土曜、日曜も休みだから、3日間休みってことになりかねないね。
bA：来週の月曜日は祝日でお休みですね。
B：土曜、日曜も休みだから、3日間休みってわけにはいかないね。
cA：来週の月曜日は祝日でお休みですね。
B：土曜、日曜も休みだから、3日間休みってことになるね。

II．電気店で店員とお客さんがMDについて話しています。MDの特徴をメモしてください。メモは母国語でもいいです。その後で、下の（　　）に適当な言葉を入れてください。

店員：いらっしゃいませ、MDプレーヤーをお探しですか？
客　：いえ、あのう……。
店員：CDプレーヤーでしたらこちらですが。
客　：ええ、今、見ました。あのう、ちょっとわかんないんですけど、MDって小さいCDのことですか。
店員：いえいえ、そうじゃないんですよ。CDとMDは全然別のものなんですよ。
客　：え、そうなんですか。
店員：MDは光磁気ディスクを使ってるんですけど……。
客　：はあ、ヒカリ……
店員：まあ、難しい話は置いといて、CDとMDの一番大きい違いは録音できるかどうかってことなんです。CDはご存じのように録音できませんよね。それに対してMDは簡単に録音することができるんです。
客　：へえ。
店員：それから、編集が楽なんですよ。例えば、録音した音楽の順番、1曲目と2曲目を逆にするといったような編集が簡単にできるんです。
客　：へえ便利ですね。じゃあ、自分の好きなようにできるんですね。
店員：ええ、そうゆうことです。まあ、今まで録音できるものといったらカセットテープでしたよね。このテープと比べるとMDは格段に音質がいいんです。それにいつまでも音質が変わらないっていう利点があるんです。
客　：はあ。CDと違うってことはよくわかったんですが、じゃあMDを聞く時、CDプレーヤーは使えないってことですね。
店員：はい、そうなんです。よくCDもMDもディスクだから、CDプレーヤーで聞けるんじゃないかっていう質問を受けるんですが、残念ながらそれはできません。専用のプレーヤーが必要です。こちらなんかいかがですか。安くなって……
客　：また、ゆっくり考えてきます。どうも。

活動　どうしてかなあ？　［I］　聞いてみよう

A：ねえ、これ見て。

B：え？　これ何のグラフ？
A：ええと、男性が仕事と余暇のどちらを重視するかっていうグラフ。
B：へえ、50代は仕事重視派が59%もいるんだね。
A：そうなのよ。多いよね。
B：どうしてこんなに多いんだろう？
A：仕事しかすることないからかな？
B：仕事しかすることないって？
A：つまり、仕事がいちばん大事っていうか、生きがいみたいな感じで、ほかにないってことなんじゃない？
B：仕事が生きがい？　そうかもしれないけど、本当は余暇を大切にしたいのにできないんじゃないかな。
A：え？　どういうこと？
B：だから、仕事ばかりしてきたから、余暇の過ごし方がわからないんだよ。
A：あ、そうか、そう考えるのか。なるほどねえ。それで余暇重視派がこんなに少ないんだね、きっと。
B：余暇の過ごし方がわからないなんて、つまらないだろうなあ。
A：うん、長生きすればするほど、余暇の時間が多くなるのにね。

活動　どうしてかなあ？　[II]　(使う表現)　練習→教科書p.115

第5課

本文Ⅰ　「平安時代」　→教科書p.124

活動　日本史の講義　[Ⅰ]　(聞いてみよう)

講義Ⅰ

エーエー、今日から2回の講義は室町時代の文化の話です。では、アー、まず、室町時代というと、マア、アー、大体14世紀頃から16世紀頃の時代で、エー、正確には足利尊氏が、あ、足利尊氏、エー、この人については後でまた詳しく話しますけど、1338年、京都の室町に幕府を開いた時から、アー、1573年に室町幕府が滅びるまでを、室町時代といいます。エー、室町時代も鎌倉時代と同じように政治的な権力は、アー、武士が握っていたんですけども、アー、武士の生活は鎌倉時代と違っていたようです。エー、どう違うかって言いますと、マア簡単に言うと、室町時代の武士は貴族と同じような生活をするようになったっていうことですねえ。

エー、この講義では室町時代の文化を中心に話したいんですけど、エー、室町時代には、現在「日本の伝統文化」って言われてるものがたくさん生まれたんです。ウーン、日本の伝統文化と一口に言ってもいろいろなものがあるんですが、アー、今日は室町時代に生まれた代表的なもの、茶道と、ウーン、華道について簡単に、エー、話します。エー、まず茶道と言うと「お茶」ですが、エー、お茶はもともと平安時代に中国から伝わったものなんです。その頃、お

茶が日本に入ってきた頃はですね、現在のようには日常的に飲まれていなかったようです。じゃあどんなふうに飲まれてたかっていうことですけど、コーヒーや紅茶と同じように、お茶を飲むと頭がすっきりするという作用があって、エー、体にもよかったので、中国から伝わった頃はお寺なんかで薬として飲まれていたようです。で、エー、室町時代に入って、エー、人々が一つの部屋に集まってお茶を飲むようになりました。初めはアー、みんなでいろいろなお茶を飲んで、その産地を当てるっていうものだったんですが、だんだん、部屋に注目するようになりました。ウー、部屋の美しさを鑑賞しながらお茶を飲む。ウーン、それが、茶道の始まりだったんですね。エー、マア、でも、茶道を楽しむことができたのはほんの一部の人だけでした。エー、茶道が完成するのは安土桃山時代なんですけど、基本的なものは室町時代にできたんです。エー、次に、エー、華道についてですが、アー、華道というのは、まあ「生け花」ともいわれているんですが……

講義2

エー、エー、前回の講義では、アー茶道と華道についてお話ししましたが、アー、今日は、茶道や華道と一緒に発達した日本建築についてお話しします。では、まず、さっき配ったプリントを見てください。これは日本間のイラストですね。はい、じゃあちょっと説明します。まず、正面に鳥の絵がかかっていますね。それが「掛け軸」です。エー、この掛け軸にはいろいろな種類があります。アー、この「掛け軸」がかかっていて、花が飾ってあるところは「床の間」です。エー、それから、床の間の向かって右側ですが、3段の棚がありますね。それが「違い棚」です。

ウーン、この部屋全体を見ると、人が出入りできる所が左右にありますが、アー、まず、向かって右側のドアのようなところに山の絵がかいてあるでしょう。それが「襖」です。襖は部屋と部屋を仕切るために作られたもので、紙と木でできています。アー、この襖にかく絵も室町時代から江戸時代にかけて発達しました。アー、それから、もう一つの出入り口の部分、エー、このイラストで言うと、向かって左側ですが、エ、それが「障子」です。エ、「障子」は廊下と部屋を仕切るのに使われることが多いんですが、エ、これもまた紙と木でできています。

で、エー、皆さんの家だったら床にあたる部分ですが、ここに敷いてあるのが「畳」です。畳は草を編んでできているんですが、アー、こうしてみると日本の家は木や紙、エー、草といった、自然の物からできていることがわかります。エー、これは、湿気の多い日本の気候には合っているんです。

アー、今説明したような日本間の基本が、アー、室町時代にできたわけです。

活動　日本史の講義　[II]　使う表現

1.

例1）「貴族」と「武士」の違いがよくわからないので説明してもらいたい。

教授：エー、何か質問はありませんか。

学生：すみません。

教授：はい、どうぞ。
学生：私は日本語がまだ不十分なもので、よくわからなかったんですが……。
教授：何ですか。
学生：「貴族」と「武士」の違いが、まだよくわからないので……、もう一度説明していただけますでしょうか。
教授：エー、貴族はですね……fade out
fade in ……ということです。
学生：ああ、そうなんですか。わかりました。どうもありがとうございました。

例2）「遊宴」というのは現在の「宴会」と同じようなものと考えていいのかどうか知りたい。
学生：先生、今、お時間、よろしいでしょうか。
教授：はい、いいですよ。
学生：この間の授業のことでお聞きしたいことがあるんですが……。
教授：何ですか。
学生：「遊宴」というのは、現在の「宴会」と同じことでしょうか。
教授：ええ、まあそう考えてもいいんですが……fade out
fade in ……というように、エー、少し違います。
学生：ああ、そうなんですか。よくわかりました。
お忙しいところ、どうもありがとうございました。

本文2　「翻訳の苦労－鍵はフルヘッヘンド」　→教科書p.136

聞く 練習

Ⅰ．会話を聞いて、その内容と合っているものをａｂｃの中から一つ選んで○をつけてください。

1．女性：あら林くん、どうしたの。そんなに大きい荷物持って……。
男性：いやあ、配達なんだよ。
女性：配達？　どうして？
男性：ぼくんちくだもの屋じゃない、だから……。
女性：でも、いつもお父さんが配達してるじゃない。
男性：実は急に父が風邪ひいちゃってね……治るまで父に代わって配達することにしたんだ。
女性：ふうん。たいへんね。
a　男の人はいつもは配達をしていない。
b　男の人はいつもお父さんに代わって配達をしている。
c　男の人は風邪をひいたので今日は配達しないことになった。

2．男性：ねえ、石田さん。
女性：なあに。

男性：今度アメリカに支店ができるって話、知ってる？
女性：ああ、聞いた。
男性：俺、アメリカで働きたいなあ。
女性：単なる噂にすぎないんじゃない。この前も、ニュージーランド支店の話があったけど、あれも単なる噂だったじゃない。

a　女の人はアメリカに支店ができるという話を信じている。
b　女の人はアメリカに支店ができるという話を知らなかった。
c　女の人はアメリカに支店ができるという話を信じていない。

3．女性：ねえ、お隣の良子ちゃん。塾に行き始めたんですって。
男性：ええ？　良子ちゃんって、まだ小学校にも行ってないじゃない。
女性：ええ。でも、いい小学校に入れるために週4回も通ってるんですって。
男性：へえ、なんだかかわいそうだね。
女性：そうね。でも、子供の将来を考えたらそのほうがいいのかしら。
男性：そんなにしてまでいい小学校に入れる必要があるのかなあ。
女性：うちはどうしようかしら。
男性：おいおい、うちはまだ1歳じゃないか。何言ってんだよ。

a　男の人は小さい子供を塾に行かせることに反対だ。
b　男の人は小さい子供を塾に行かせることに賛成だ。
c　男の人は自分の子供も塾に行かせたいと思っている。

II．テレビのレポーターがジョン・ボビのコンサートの様子を伝えています。その内容をメモしてください。その後で1から5の文を聞いて、その内容が合っているものには○、合っていないものには×をつけてください。

司会者　　：それでは、次のコーナーは、昨日行われたジョン・ボビのコンサートの様子を橋本さんに伝えていただきます。
レポーター：はい。エー今若い人たちの間で大人気のジョン・ボビですが、今回は初めての来日だっただけに、チケットも発売から30分ですべて売り切れたそうです。昨日は東京の新宿ホールでのコンサートだったんですが、2万人収容できるこのホールも、昨日はジョン・ボビの歌を聞こうという女の子で一杯でした。また、チケットを買えなかったファンも、エー、2千人ぐらいいたんですが、あきらめ切れない様子でホールの周りに集まっていました。
さて、コンサートのほうは、1曲目が始まった時からファンはみんな立上がり、興奮のあまり泣き出す女の子もいました。ファンにとっては夢のような2時間だったようです。コンサート終了後もホール周辺は女の子たちで一杯で、特に出入り口付近はラッシュアワーの電車のような混雑でした。というのは、コンサート会場からホテルに帰るジョン・ボビを一目見ようと、ファンが押しかけたからです。結局、ジョン・ボビは混乱を避けてホールの屋上からヘリコプターでホテルに戻ったのですが、ファンは終電の時間まで大騒ぎでした。ジョン・ボビのコンサート、今日は横浜、

第5課

明日は大坂で……

1．ジョン・ボビのコンサートのチケットはすぐ売り切れた。
2．コンサートには興奮しすぎて、泣き出した女の子もいた。
3．ホールにはチケットを持っていない人も入ることができた。
4．コンサート終了後、女の子たちはラッシュアワーの電車に乗った。
5．女の子たちはコンサート終了後、出口でジョン・ボビを見ることができた。

第6課

本文1　「豊かな言葉」　→教科書p.154

聴解　なるほど！　言葉の由来　（聞いてみよう）

1．A：ふう、疲れたねえ。
B：ほんと。ウーン……（伸びをしている）
〈時計の音〉
A：あ、3時！
B：ちょっと休憩しよっか。
A：うん、おやつにしようよ。おいしいケーキがあるの。
B：わあい！
2．A：じゃ、出前行ってきます。
B：おう、すぐそこの石田さんちだからな。
A：はい。
〈バイクの音〉
B：遅いなあ。まだ帰ってこねえ。あいつ、何やってんだ。
A：ただいま。
B：遅かったじゃねえか。どこで油売ってたんだ！
A：はあ。すいません。
3．A：あのう、岸田さん。
B：なあに、フォードさん。
A：日本のお茶碗は、いくらぐらいしますか。
B：お茶碗？　あの、御飯を食べる？
A：いえ、茶道の時使う……今度、国に帰るんで、お土産にしようと思って。
A：お茶碗ねえ。ピンからキリまであるからねえ。安いのだと5、6百円ぐらいであるけど、いい物だと何万円もするし……。何百万ってのもあるしね。
A：へえ、ずいぶん違うんですね。
B：実際に見て決めるのがいちばんいいわよ。今度一緒に行ってみましょっか。
A：あ、いいんですか。じゃあ、お願いします。
4．A：それでさあ、あいつったらさ、

B：あっ、
A：何だよ、どうしたの。
B：あの人。
A：え？　ああ、金子さんだろ、４年生の。
B：ふうん、金子さんっていうの。あの人、すてきよねえ。ああいうのをほんとの「二枚目」っていうのよね。
A：ふん、顔だけよくっても、性格が悪いかもしれないぜ。
B：なによ。
A：男は顔じゃないってこと。五十嵐なんて、見てみろよ。そりゃ、決してハンサムとは言えないけど、明るくって、おもしろくって、けっこういい奴だぜ。
B：ええ、やだ、あんな三枚目。
A：そうかあ？　じゃ、僕なんか、どう？
B：え？

では、言葉の由来を聞いて、メモを完成させてください。

司会：皆さん、こんにちは。「なるほどミニ知識」の時間です。今日は、私たちが日常使っている言葉にスポットをあててみたいと思います。何気なく使っている言葉でも、よく考えると、「どうしてこんな言い方をするんだろう。」と不思議なものがありますね。今日は、「ことばはかせ」として皆さんもよくご存じの、出口教授に、言葉の由来についてお話ししていただきます。
　では、まず１番の「おやつ」の由来です。

教授：エー、私たちは３時になると、「おやつ」といって、お茶を飲んだり、お菓子を食べたりします。これはなぜでしょうか。アー、今は１日３回食事をするのが普通ですが、江戸時代は朝と夕方の２回だけだったんです。当然おなかがすきますね。エー、その頃は１日24時間を12に分けて時間を数えてたんですが、その数え方で「八つ時」、今で言うと、午後２時から４時頃までですね。ちょうどその時間にお菓子や果物などを食べる習慣があったんです。この習慣が、今も私たちに残っているんですね。まあ、今は栄養の取り過ぎですから、あまり必要ないんですが、３時に限らずみんなよくおやつを食べていますね。

司会：次に、２番の「油を売る」にはどんな由来があるんでしょうか。

教授：エー、仕事の途中で喫茶店なんかでおしゃべりしているのを上司に見つかると、「こんなとこで油を売って。」と叱られちゃいますね。エー、実は、「油を売る」っていうのは江戸時代にできた言葉なんです。歴史があるんですね。江戸時代には電気なんかありませんから、人々は夜、油のランプのようなもんを使って、明るくしてたんです。で、１軒１軒の家を回って、油を売る人がいたんですけども、油をですね、ぴったり計って入れ物に入れるのは、難しいもんで、けっこう時間がかかります。それで、その間、客と話をしたりしてることが多かったようです。その様子をそばで見てると、遊んでるように見えたんでしょうね。一生懸命仕事をしてるのに「遊んでいる」と言われては、油屋さんも嫌でしょうが、

今でもまじめに仕事をしないで遊んでいることを「油を売る」っていうんですね。

司会：なるほど。では、３番の「ピンからキリまで」はどうでしょうか。

教授：今の世の中には、同じ種類のものでも、最高のものもあればあんまりよくないものもあります。例えば、かばんを買いたいと思ってデパートへ行っても「ピンからキリまで」あって、どれを買ったらいいのか迷っちゃいますね。エー、この「ピン」「キリ」っていう言葉ですが、もともとはポルトガル語だったんですよ。日本語には、英語以外の言葉からきた外来語も結構あるんですね。「ピン」はポルトガル語で「１」という意味の「pinta（ピンタ）」から、「キリ」のほうは「cruz（クルス）」、エー、これには数字の10という意味がありまして、そこからきた言葉なんです。「ピン」が「いちばん」で、レベルの高いほう、「キリ」が反対に低いほうを表すようになったんですよ。ま、１から10まで、ってことでしょうかね。

司会：最後に、４番の「三枚目」は……。

教授：皆さんの中で、男性の方は「二枚目」って言われるとうれしいでしょうし、「三枚目」って言われるとやっぱり嫌でしょうね。これはどちらも、歌舞伎から生まれた言葉なんです。歌舞伎の劇場の入口には、８枚の看板が飾られてて、それぞれ人の絵がかかれてるんです。まあ、今で言うと、映画スターのポスターのようなもんだと思えば、わかりやすいですね。この看板なんですが、並べる順番がちゃんと決まってて、人気のあるハンサムな役者の絵は必ず二枚目に飾り、三枚目には客を笑わせるようなおもしろおかしい役者の絵が飾られるんです。そこから、ハンサムな男性のことを「二枚目」、エ、それから、ハンサムではないけどちょっとおもしろい男性を「三枚目」というようになったんです。私なんか自分では二枚目だって思ってるんですが、まだそう言ってもらったことがないってのはなぜなんでしょうかね、ハッハッハ……。

司会：フフフ……、本当に不思議ですねえ。先生、今日はどうもありがとうございました。

本文２　「だるま」 →教科書p.164

聞く 練習

Ⅰ．初めに言う文の内容と合っているものをａｂｃの中から一つ選んで○をつけてください。

１．お客様にお願いいたします。ご入場の際にお渡しいたしましたアンケートは、お帰りの際に係員にお出しくださいますよう、お願い申し上げます。

ａ　アンケートは入場する時に係員に渡す。

ｂ　アンケートは帰る時に係員に渡す。

c　アンケートは帰る時にもらう。

2．ワープロの普及と共に、日本人の漢字能力が低下してきたと言われています。これは、ワープロでは漢字を選ぶ能力は要求されていますが、書く能力は要求されていないためでしょう。

a　ワープロを使う人が多くなったのは、漢字が書けない人が多くなったからだ。

b　ワープロを使う人が多くなって、漢字が書けない人も多くなってきた。

c　ワープロを使う人が多くなって、漢字が書ける人が多くなった。

3．65歳以上のお年寄りの割合は、21世紀の初めには日本の総人口の20％近くにまで達すると予測されています。このように、高齢化が進むにしたがって、一人暮らしのお年寄りも増え、大きな社会問題となりそうです。

a　高齢化が進むにつれて一人暮らしのお年寄りが増える。

b　一人暮らしのお年寄りが増えるにつれて高齢化が進む。

c　社会問題が増えるにつれて一人暮らしのお年寄りが増える。

II．ラジオで、「松下幸之助」の経歴についての番組を放送しています。その内容をメモしてください。その後で質問を聞いて、答えを書いてください。

こんにちは。「この人、知ってる？」の時間です。今日はナショナル、つまり松下電気を創立した松下幸之助さんの経歴を簡単にご紹介しましょう。日本における電気産業の父とも言える人です。

松下幸之助は８人兄弟の末っ子で、父親の商売がうまく行かなかったため、小学校を卒業する前から自転車屋で働いていました。15歳の時、電車が走るのを初めて見て、これからは電気の時代だと思い、電気器具を売る会社に勤めました。仕事熱心で、工事もうまかったので、まわりからも評価され、22歳の時、自分の会社をつくるまでになりました。電気器具が普及するにしたがって、幸之助の商売も順調に伸びていきましたが、その頃、幸之助は会社を大きくするばかりでなく、人の役に立つことをしたいと考えていました。電気製品をたくさん作ることによって、人々の生活を豊かにすると共に、『ＰＨＰ』という雑誌を発行し、一生を通じて平和と幸福を実現する運動を行いました。幸之助は９歳の時から働き続けて、世界に進出する大企業を築いたところから、現在でも「経営の神様」と呼ばれています。

1．松下幸之助は、小学校を卒業する前、どこで働いていましたか。

2．松下幸之助は15歳の時、何を見て、これからは電気の時代だと思いましたか。

3．松下幸之助が初めて自分の会社を設立したのは何歳の時でしたか。

4．松下幸之助は会社を大きくすること以外に、どんなことを考えていましたか。

5．松下幸之助は現在何と呼ばれていますか。

活動　日本で見つけたこんな物［II］　話す前に

皆さんはこの人形を見たことがありますか。

第6課

この人形の名前を知っていますか。(はい／いいえ／選挙の時／だるま)そうです。「だるま」です。この前選挙がありましたね。その時ニュースでこの人形に目をかき入れていた人がいたと思うんですが、どうしてそんなことをするか、皆さんはご存じですか。(いいえ) 私も不思議に思って調べてみました。

大衆文化事典によるとこの人形は中国の「達磨」というお坊さんがモデルになっていて、この人が座禅をしている姿を人形にしたものだそうです。座禅というのは、こうやって足を組んですわって、足が痛くなっても、おなかがすいても、そんな考えは捨てて心を鍛えることです。この人形には手や足がついていないんですが、それはたぶん達磨が座禅をしているところを人形にしたからだと思います。

それから、この人形にはもう一つ変わっているところがあります。皆さんもお気づきだと思いますが、目がかかれていないんです。なぜかというと、人々が願い事をするときに片方の目をかき入れて、願い事がかなうと残りの目をかき入れてお祝いをするからだそうです。今でも選挙や受験の時にだるまがよく使われているということです。

私ももうすぐ受験なので、だるまを買って合格できるようにお願いしようと思っています。皆さんも買ってみたらいかがですか。合格できるかもしれませんよ。

第7課

本文1 「日本の食文化　うなぎ」 教科書p.176

活動　どんな食べ物ですか？ ［Ｉ］ 聞いてみよう

1．

例）(そば屋で)

店員：何にしますか。

A：そうだなあ、ぼく、おかめうどん。アンジーは？

B：ええと……、私も同じの。

店員：はい。おかめうどんふたっつ！

B：あのう、今頼んだの、どんな物？

A：え！　わかんないのに頼んじゃったの？　おかめにはねえ、うどんとそばがあるんだよ。うどん頼んだんだけど、それでよかった？

B：うん、それはいいんだけど、どんなうどん？

A：ええとねえ、いろんな物がはいってんだよ。例えば、蒲鉾(かまぼこ)……

B：かまぼこ？

A：うん。魚を潰して作った物なんだけどね。白くて、丸を半分にしたような形の。まわりがピンク色のもあるけど……。

B：ああ、食べたことある。

A：あと、しいたけやほうれん草も入ってるかな。それから卵で作った伊達巻きが入ってることもあるな。

B：だ・て・ま・き？
A：うん、だてまき。卵焼きみたいなもの。店によって違うけど、いろんなものが入ってるんだ。いろんな味がしておいしいよ。
B：ねえ、でも「おかめ」って何の事？
A：女の人の名前っていうか、今は美人じゃない女の人のことをいったりするんだ。で、おかめうどんは、その、いろいろ入ってるもの、あのう、さっき言ったかまぼことかしいたけが顔みたいに並んでるから「おかめ」って名前がついたって話もあるよ。
B：ふうん。美人じゃない女の人なんて、ちょっと失礼ね。
店員：はい、おかめのお客さん、おまちどおさま。

1）（そば屋で）
B：ねえ、あのメニューの最後のほうにある「おやこ……」
A：ああ、親子丼？
B：そうそう、あれもうどんの名前？
A：ううん、「丼」って字がついてるのは、ご飯物だよ。で、親子丼はねえ、ご飯の上に鳥肉と、卵がのってるんだ。
B：鶏肉と卵、ああ、それで、親子っていうのね。おもしろい名前。
A：そうだね。
B：味は……？
A：ああ、しょうゆと砂糖で味付けしてあるんだ。
B：ふうん。メニューの親子丼の下に「うえ」って書いてあるのは何？
A：「じょう」って読むんだけど、上は普通のより値段が高くて、乗ってるものもちょっと違うんじゃないかなあ。量が多いとか、いい材料を使ってるとか。並しか食べたことがないからわかんないや。
B：よおし、今度、親子丼の上、食べてみよっと。

2）（和風喫茶店で）
A：あの、こういうとこ初めてなんですけど、どれがおいしいですか。
B：ほほほ、うちのは何でもおいしいって言ってもらってますけど、そうですねえ、あんみつ、召し上がってみたら？
A：それは、お菓子ですか。
B：お菓子っていうか……、冷たいデザートですね。
A：デザート……。甘いんですか。
B：ええ、でも、上品な甘さですよ。
A：何が入ってるんですか。
B：寒天っていう、そうですねえ、ゼリーはご存じでしょう？　小さくて四角いゼリーみたいなもんですけどね、その寒天と、果物と、豆と、わかります？　豆。丸くて小さい。
A：はいはい。
B：そういうものの上に、あんこがのせてあって、
A：あんこって、あの、豆で作った……。
B：ええ、豆を煮て作った、あの、和菓子によく入ってるあんこですね。で、その上に、蜜がかかってんですよ。

A：へえ、あんこのうえに蜜がかかってるんですか。
B：あんこのない「みつまめ」っていうのもありますけど……。
A：ううん、どうしようかなあ。でも、やっぱりあんみつ食べてみます！

3）（お好み焼き屋で）
A：ねえ、お好み焼きって食べたことある？
B：えっ、それ、どんな食べもの？
A：ええとねえ、そうだなあ、ピザに似てるかな。
B：ピザ？
A：うん、日本風ピザって感じかな。チーズは入ってないけどね。小麦粉の中に肉や野菜を入れて、焼いてあるんだ。
B：ああ、わかったわかった。一度食べたいなあと思ってたんだ。
A：よし、じゃあ、いこう。
店員：いらっしゃい。
A：何にする？
B：ぶ・た・た・まって何？
A：豚肉と卵が入ってるんだ。
B：それだけ？
A：いや、キャベツを細く切ったのとか桜えびとかはもちろん入ってるよ。
B：桜えび？
A：うん。えびは知ってるでしょ？　小さくって乾燥したやつが桜えび。
B：ふうん。
A：そこに豚肉と卵が入ってるのが「ぶたたま」。この店はソースがピリッと辛くておいしいんだ。
B：おいしそう。
A：他にも、焼きそばが入ってるのもあるよ。
B：へえ、どれにしようかなあ……。

活動　どんな食べ物ですか？　［II］（話してみよう）　→教科書p.188

本文2　「食を見直す」　→教科書p.190

（聞く）練習

I．これから男の人と女の人の会話を聞きます。会話は途中で終わっています。女の人は、その後、何と言うでしょうか。ａｂｃの中から一つ選んで○をつけてください。

1．男性：あれ、どうしたんですか。
　女性：ちょっと頭が痛くて……。
　男性：じゃあ、早く帰ったほうがいいんじゃありませんか。
　女性：ええ、でも、今日は3時間目にテストがあるから。
　　ａ　帰るらざるを得ないんですよ。

b　帰るわけにはいかないんですよ。
c　帰らずにはいられないんですよ。

2．女性：昨日、大変だったんですよ。
男性：どうしたんですか。
女性：電車の中にバッグを置いたまま降りちゃったんですよ。
男性：ええ、大変でしたね！　それで？
女性：それが、ありがたいことに、
a　親切な人が駅員さんに届けてくれたんです。
b　今、探してるところなんです。
c　新しいバッグを買わなくちゃならないんです。

3．男性：先生、授業の後、教室で勉強してもいいですか。
女性：ええ、もちろんいいですけど、最後に教室を出る時は窓を閉めてくださいね。
男性：はい。
女性：あ、それから暖房のスイッチも
a　消しがちですから気をつけてくださいね。
b　忘れがちですから気をつけてくださいね。
c　つけがちですから気をつけてくださいね。

II．会社でサラリーマンの先輩と後輩が話しています。二人の気持ちに注意して聞いてください。その後で1から5の文を聞いて、会話の内容と合っているものには○、合っていないものには×をつけてください。

後輩：先輩、ちょっと珍しい酒が手に入ったんですよ。飲みませんか。
先輩：ん？　珍しい酒？
後輩：ええ。1年に10本しか作らないっちゅう…あの、新潟の…
先輩：ああ、ああ、「紅梅」かあ。
後輩：ね、今日、ぼくんち、来ませんか。
先輩：今日か……。今日、早く帰るって言っちまったんだよなあ。
後輩：クククク……。でも、飲まずにはいらんないでしょ？　奥さんに電話したら？
先輩：ううん。よし。後輩から飲んでほしいと言われれば、飲まないわけにはいかんな。
後輩：そうこなくっちゃ。
先輩：女房には嘘をつかざるをえないな。よし。電話してくる。
〈電話をかける〉もしもし、あ、マリチャン？　ごめんねえ、今日、仕事で遅くなるから…。ほんと、ごめん。

1．「先輩」は仕事で今日遅く家に帰る。
2．「先輩」はあまりお酒は飲みたくない。
3．「先輩」は今日早く帰るつもりだった。
4．「後輩」は「先輩」と一緒にお酒を飲みたいと思っている。
5．「先輩」は奥さんに嘘をついた。

本文1 「地球が危ない」 →教科書p.204
本文2 「私たちにできること」 →教科書p.208

聞く練習

I．会話を聞いて、その内容と合っているものをａｂｃの中から一つ選んで○をつけてください。

1．女性：この仕事、一週間ぐらいかかるかしら。
男性：そうですねえ。急いでやれば5日で済むと思いますよ。
ａ　男の人は、この仕事は5日あればできると思っている。
ｂ　男の人は、この仕事は5日もかかると思っている。
ｃ　男の人は、この仕事は5日以上かかると思っている。

2．男性：どうしたの？　すごい荷物！　今日はウィンドウショッピングだけで買わないって言ってたのに。
女性：頼まれたのよ。
男性：お母さんに？
女性：そうなのよ。デパートに行くって言ったばっかりにさあ……。
ａ　女の人はデパートに行きたくなかったのに、買い物を頼まれた。
ｂ　女の人がデパートに行ったのは、買い物を頼まれたからだ。
ｃ　女の人はデパートに行くと言ったために、買い物を頼まれた。

3．Ａ：森田さん、この季節、台風が気になるんですが……。
Ｂ：ええ、そうなんですよ。強い勢力を持った台風13号なんですが、勢力を保ったまま、関東地方に近付きつつあるんです。
Ａ：じゃあ、関東地方に上陸する恐れがあるということですね。
Ｂ：ええ、その可能性が高いですね。今後も注意が必要です。
ａ　台風はもう関東地方に上陸した。
ｂ　台風は関東地方に向かっているところだ。
ｃ　台風は関東地方の近くを通り過ぎた。

II．ポケットベルや携帯電話について話しています。その内容をメモしてください。その後で質問を聞いて、答えを書いてください。

今や小学生がポケベル、中学生は携帯電話を持っているとさえ言われています。本当かどうかはわかりませんが、それくらい普及しているのは確かです。しかし、これらが普及するのと同時に、他人に迷惑をかけている人が増えていることも忘れてはいけません。

例えば、電車に乗っている時。携帯電話で話している人が近くにいると、こちらとしては聞きたくもない話が聞こえてしまいます。盗み聞きしているようでいやな気分になってきます。また、授業中に突然鳴り出す誰かのポケベル。先生に対して失礼になるばかりか、まじめに授業を受けている生徒にとっても迷惑です。いちばん困ったのは試験中に鳴った誰かの携帯電話の音でした。そのせいで集中できなくなったのは私だけではなかったと思います。ポケベルや携帯電話を持つのを悪いと言っているわけではありません。電源を入れっぱな

しにせず、もっと時と場所を考えたうえで使ってほしいのです。ポケベルや携帯電話を持つなら、最低限のマナーを守るべきではないでしょうか。

1．どんな時に鳴るポケットベルや携帯電話がよくないと言っていますか。例を二つ挙げてください。
2．それらはどうしてよくありませんか。
3．この人がいちばん言いたいことは何ですか。

活動　村おこし住民集会　［Ｉ］　聞いてみよう

1．

司会：皆様、本日はお忙しいところをありがとうございます。それではさっそく緑野村「村おこし」住民集会を始めさせていただきます。エー、今日はこの緑野村で進められております「村おこし」計画についてご説明いただいた上で、皆様のご意見を伺いたいと思っております。では、中部開発株式会社の川上さんからこの計画について説明していただきます。川上さん、お願いします。

川上：はじめまして。川上です。よろしくお願いします。エー、では、さっそく計画の概要を説明させていただきます。こちらは現在の緑野村の地図でございますが、まず、村の北側にあります山を切り開いてゴルフ場を造成する予定でございます。エー、この神社のある山ですね。もちろん、神社はこのまま残します。そして、ゴルフ場の隣にクラブハウスを建設いたします。ちょうど境川を見下ろす形になりますね。また、緑野村は温泉が出ますので、ゴルフ場の対岸、ええと、川の反対側ですね、ここには昔から温泉旅館がありますけれども、これを新しく大きな旅館に建て替えたいと考えております。また、墓地、エー、今、お墓のあるあたりですが、ここには露天風呂も作りまして、ゴルフの後にはこちらで疲れを取っていただこうというわけでございます。あ、それから、ここはいろんな温泉が楽しめるようなものにして、住民の皆様にもご利用いただくつもりでおります。エー、このほか、宿泊施設といたしましては、ペンションやホテルを建設する予定でございます。で、まず、ペンションの場所なんですが、境川のほとりですね、この辺りです。今はりんご園になっていますけれども、ここに若者向けのペンションを４軒ですね、エー、建設したいと考えております。エ、さらに川を隔てて、ペンションの向かい側になりますが、ここにはテニスコートを10面作りまして、合宿所付きの「小さなテニス村」とする予定でございます。それからですね、ホテルは、ええと……、農協と村役場の向かいにですね、家族向けの大きいホテルを建てる予定でございます。そしてホテルから歩いて行ける所に娯楽施設も建設いたします。娯楽施設にもいろいろありますが……、エー、今、交番と食堂が向かい合って建っていますね、この通りの両側はレストラン街にする予定です。さらにですね、食堂の南の方、ええと、郵便局のある通りになりますが、その通りにショッピングセンターを作りまして、地元の特産物やみやげものなどが販売できるように

いたします。(ゴホン)失礼。また、幼稚園の向かい辺りにですね、駐車場を造る予定になっております。

尚、都心からの交通でございますが、現在建設中の中部自動車道が開通いたしますと、エー、今までは東京から5時間かかりましたが、それが、なんと2時間半に短縮されます。高速道路の全線開通は2年後だと聞いておりますが、私共もこの2年後を目標に、ただいま、準備を進めているところでございます。

2.

司会：ありがとうございました。エー、続きまして、野村村長のほうから村としてのお考えをお願いいいたします。

村長：エー、村長として皆様に申し上げたいことは、人口の減少の問題であります。ここ数年の過疎化で、現在、村には2500人しかおらず、その80%が60歳以上のお年寄りです。数年後、村の人口は1000人を切ってしまいます。そうなればこの村はもう終わりです。今、村は危機的な状況なのです。それに、現在の村は税金収入が少なく、小学校と小さい病院しかありません。しかし、ゴルフ場やそれに伴う施設ができた際にはたくさん税金が入ってきます。それで皆さんの病院や学校を新しく作ることができるのです。エー、そして、何よりも大切なのは仕事の機会が増えるということです。仕事があれば若者も村に残り、都会からも帰ってくるはずです。もちろん土地を提供してくださる方々の中にも、農業を続けたい、とおっしゃる方がいらっしゃることでしょう。エー、そのような場合は私が責任をもって代わりの土地をご用意いたします。いろいろなご意見があると存じますが、昔の活気に満ちた村を取り戻すために、エー、村全体でこの計画に協力していただきたいと、このように思うわけです。

司会：ありがとうございました。それでは次に、村民代表の方々のご意見をいただきたいと思いますが……宮本さんから、いかがでしょうか。

宮本：なんか、夢のような計画で……何て言ったらいいか……。まあ、私はこの計画に賛成です。うちはずっと農協の隣で店をやっておりますが、人が減ってあまりもうかりませんし、東京に行った息子も戻って来ませんしねえ、私の代で終わりだろうと思っておりました。でも、この計画が実現すれば、息子たちも仕事ができて帰ってくるんじゃないかと思うんです、ええ、そうなったらいいなあと……。

北山：そりゃあ……、あ、いいかね。今、話しても……。

司会：北山さん、どうぞ。

北山：わしも若いもんが帰ってくるのはいいと思うんだが……、だけんども、先祖代々受け継いできた山や畑や田んぼを、そんな簡単に手放すことなんか、いやー、できません。そんなことしたら、ご先祖様に申し訳がありませんわい。

木村：あの、すみません、ちょっといいでしょうか。

司会：あ、木村さん、どうぞ。皆さん、遠慮なさらずどんどん発言なさってください。

木村：先ほど、宮本さんは若者が帰ってくるとおっしゃったんですが、本当に帰って来るんでしょうか。ここは田舎ですからねえ。便利になるのはいいんですけど、便利になったぐらいじゃあ……。どうです？　宮本さんは……。

宮本：それはそうかもしれませんけど、今のままじゃ何も変わらないんじゃないかと思うんですよ。うちの主人も最近は弱りまして、町の病院に通ってるんですが、その病院まで車で１時間もかかるんですよ……。１日に３本しかないバスじゃ、そりゃもう不便で……。これは私だけじゃありません。みんな、そう言ってます、ええ。この村にも病院ができれば助かります。ねえ、木村さん、違いますか？

木村：そうですね。私もそう思います。村に人が集まっていろんなものができれば、生活はずっと楽になるでしょうし、もちろん、子供の頃から遊んだ山や川も変わってしまうでしょうけど……、村がなくなるよりはまし、ええ、ましなんじゃないかと思います。

長嶋：すみません、ちょっとよろしいでしょうか。

司会：あ、長嶋さん、どうぞ、どうぞ。

長嶋：自然保護団体アースピースの長嶋です。エー、環境保護の立場から言わせていただけば、私はこの計画は行わないほうがいいと思います。特に、このゴルフ場の建設は大変な問題です。というのは、この辺りは珍しい野鳥が生息している地域だからです。ゴルフ場なんかできたら、野鳥が住める環境は破壊されてしまいますよ。それに、ゴルフ場に使う農薬は人間にも影響を及ぼします。川の水が汚れて、飲み水が汚染されてしまってもいいんですか。

北山：そりゃ困る。いくら金を払うと言われても、お金なんか問題じゃない、わかりますか。わしの土地なんじゃよ。誰にも譲る気なんかない。ゴルフ場だって？　わ、わ、わしはゴルフなんかせんが。それに、その、なんじゃ、あのペ…ペン……とか何とか、とにかく、わしはそんなもんはいらんね。

司会：あ、あの、北山さんのお気持ちもわかりますが……あの、冷静に冷静に。エー、では、ほかの方、いかがでしょうか。

文化中級日本語 II 教科書用テープ



にほんごの凡人社
定価4,000円+税